

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2017-125347

(P2017-125347A)

(43) 公開日 平成29年7月20日(2017.7.20)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
E 0 6 B 9/24 (2006.01)	E 0 6 B 9/24	2 E 0 3 6
E 0 6 B 7/02 (2006.01)	E 0 6 B 7/02	

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2016-5171 (P2016-5171)
 (22) 出願日 平成28年1月14日 (2016.1.14)

(71) 出願人 000107930
 セイキ販売株式会社
 東京都練馬区豊玉南3丁目21番16号
 (74) 代理人 100119404
 弁理士 林 直生樹
 (74) 代理人 100072453
 弁理士 林 宏
 (74) 代理人 100177769
 弁理士 石川 徹
 (72) 発明者 中村 健一
 東京都練馬区豊玉南3丁目21番16号
 セイキ販売株式会社内
 (72) 発明者 守谷 将人
 東京都練馬区豊玉南3丁目21番16号
 セイキ販売株式会社内

最終頁に続く

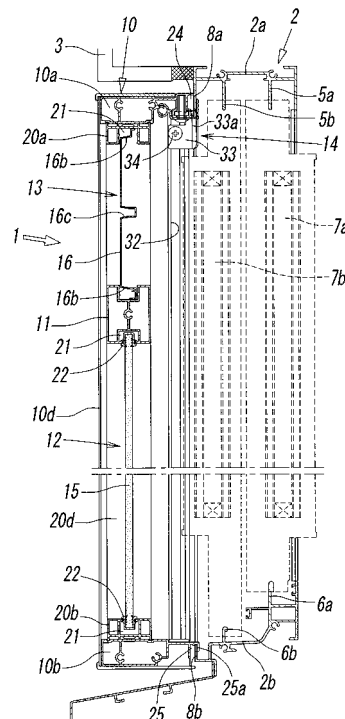
(54) 【発明の名称】 通気・目隠し装置

(57) 【要約】

【課題】窓に嵌め殺し状態に取り付けておくだけで目隠し機能と通気機能とを発揮させることができる通気・目隠し装置を提供する。

【解決手段】装置枠10の上方の横枠杆10a及び下方の横枠杆10bに、サッシ2の上部レール8a及び下部レール8bに落とし込み式に取り付けるための上部係止溝24及び下部係止溝25が形成され、上部係止溝24の深さは下部係止溝25の深さより深く、目隠し部12には、光透過性を有する不透明の透光パネル15が取り付けられ、通気部13には、不透明の穿孔パネル16が取り付けられ、固定装置14は、左右の縦枠杆10c、10dにスライド自在に取り付けられた固定金具33と、該固定金具33を固定する固定螺子34とを有し、前記固定金具33の当接部33aを前記上部レール8aに当接させた状態で前記固定金具33を固定螺子34で前記縦枠杆10c、10dに固定することにより、前記通気・目隠し装置1が前記サッシ2に固定される。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

引き違い窓の矩形のサッシに落とし込み式且つ嵌め殺し状態に取り付ける通気・目隠し装置であって、該通気・目隠し装置は、上下の横枠杆及び左右の縦枠杆からなる矩形の装置枠と、該装置枠の内部を目隠し部と通気部とに区画する仕切框と、前記装置枠を前記サッシに固定する固定装置とを有し、

前記装置枠における上下の横枠杆のうち上方の横枠杆に、前記サッシの上枠辺に形成された上部レールが嵌合、係止する上部係止溝が形成されると共に、下方の横枠杆に、前記サッシの下枠辺に形成された下部レールが嵌合、係止する下部係止溝が形成され、前記上部係止溝の深さは下部係止溝の深さより深く、

前記目隠し部には、光透過性を有する不透明の透光パネルが取り付けられ、

前記通気部には、複数の通気孔を有する不透明の穿孔パネルが取り付けられ、

前記固定装置は、前記装置枠の左右の縦枠杆のうち少なくとも一方の縦枠杆に、該縦枠杆に沿って上下方向にスライド自在に取り付けられた固定金具と、該固定金具を前記縦枠杆に固定する固定螺子とを有し、前記固定金具には前記サッシの上部レールに当接する当接部が形成されていて、該当接部を前記上部レールに当接させた状態で前記固定金具を前記縦枠杆に固定螺子で固定することにより、前記装置枠が前記サッシに固定されるように構成された、

ことを特徴とする通気・目隠し装置。

【請求項 2】

前記上部係止溝及び下部係止溝と前記固定金具及び固定螺子とは、前記装置枠における前記透光パネル及び穿孔パネルより室内側の位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の通気・目隠し装置。

【請求項 3】

前記固定金具が取り付けられた縦枠杆の内側面には、前記透光パネル及び穿孔パネルより室内側の位置に、金具取付溝が上下方向に形成され、該金具取付溝に前記固定金具がスライド自在に取り付けられていることを特徴とする請求項 2 に記載の通気・目隠し装置。

【請求項 4】

前記仕切框の室内外方向幅は、前記装置枠の室内外方向幅より小さく、該仕切框が前記装置枠に取り付けられている位置は、該装置枠の室内外方向幅の中央より室外端寄りの位置であり、また、前記装置枠の内周面の室外端寄りの位置には、前記仕切枠と同等の室内外方向幅を有するパネル取付部材が取り付けられ、該パネル取付部材を介して前記透光パネル及び穿孔パネルが前記目隠し部及び通気部にそれぞれ取り付けられていることを特徴とする請求項 1 から 3 の何れかに記載の通気・目隠し装置。

【請求項 5】

前記装置枠の縦径及び横径を、前記サッシの開口部の縦径及び横径に対して同等以上とすることにより、該サッシの開口部全体を覆った状態で該サッシに取付可能であることを特徴とする請求項 1 から 4 の何れかに記載の通気・目隠し装置。

【請求項 6】

前記通気部の面積は前記目隠し部の面積より小さいことを特徴とする請求項 1 から 5 の何れかに記載の通気・目隠し装置。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、引き違い窓のサッシに取り付けて外部から室内が見えないように覆い隠す目隠し装置に関するものであり、更に詳しくは、目隠し機能の他に通気機能も兼ね備えた通気・目隠し装置に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

引き違い窓のサッシに取り付けて外部から室内が見えないように覆い隠す目隠し装置と

10

20

30

40

50

して、例えば特許文献 1 に開示されたものが知られている。

この公知の目隠し装置は、引き違い障子及び網戸が取り付けられたサッシ（窓枠）における前記網戸より室外側の位置に、不透明のルーバ又はパネルからなる障子状をした二つの目隠し部材を、引き違い式にスライド自在なるように取り付けられたもので、窓の目隠しをするときは、前記二つの目隠し部材を、窓の一半部側と他半部側とに位置するようにスライドさせることにより、該窓を閉鎖し、通気をするときは、前記二つの目隠し部材を、互いに重なり合う位置にスライドさせることにより、該窓を開放する。

【 0 0 0 3 】

しかしながら、前記従来目隠し装置は、障子状をした二つの目隠し部材で形成されているため、構造が複雑であり、また、二つの目隠し部材を引き違い式にスライドさせることにより、窓を閉鎖して目隠し状態にしたり、窓を開放して通気状態にしたりしなければならないため、操作が煩雑で使い勝手が悪いという欠点がある。しかも、前記目隠し部材は、通常の引き違い障子と同様に、レール上にスライド自在に取り付けられているため、外部から簡単に取り外すことができ、防犯上の問題も有している。

【 先行技術文献 】

【 特許文献 】

【 0 0 0 4 】

【 特許文献 1 】 特開 2 0 1 0 - 1 4 4 4 9 1 号 公 報

【 発明の概要 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 0 5 】

本発明の技術的課題は、窓に嵌め殺し状態に取り付けておくだけで、一々開閉操作しなくとも、目隠し機能と通気機能とを常時発揮することができる、構造が簡単で機能的設計構造を備えた通気・目隠し装置を提供することにある。

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 6 】

前記課題を解決するため、本発明によれば、引き違い窓の矩形のサッシに落とし込み式且つ嵌め殺し状態に取り付ける通気・目隠し装置であって、該通気・目隠し装置は、上下の横枠杆及び左右の縦枠杆からなる矩形の装置枠と、該装置枠の内部を目隠し部と通気部とに区画する仕切框と、前記装置枠を前記サッシに固定する固定装置とを有し、前記装置枠における上下の横枠杆のうち上方の横枠杆に、前記サッシの上枠辺に形成された上部レールが嵌合、係止する上部係止溝が形成されると共に、下方の横枠杆に、前記サッシの下枠辺に形成された下部レールが嵌合、係止する下部係止溝が形成され、前記上部係止溝の深さは下部係止溝の深さより深く、前記目隠し部には、光透過性を有する不透明の透光パネルが取り付けられ、前記通気部には、複数の通気孔を有する不透明の穿孔パネルが取り付けられ、前記固定装置は、前記装置枠の左右の縦枠杆のうち少なくとも一方の縦枠杆に、該縦枠杆に沿って上下方向にスライド自在に取り付けられた固定金具と、該固定金具を前記縦枠杆に固定する固定螺子とを有し、前記固定金具には前記サッシの上部レールに当接する当接部が形成されていて、該当接部を前記上部レールに当接させた状態で前記固定金具を前記縦枠杆に固定螺子で固定することにより、前記装置枠が前記サッシに固定されるように構成されたことを特徴とする通気・目隠し装置が提供される。

【 0 0 0 7 】

本発明において、前記上部係止溝及び下部係止溝と前記固定金具及び固定螺子とは、前記装置枠における前記透光パネル及び穿孔パネルより室内側の位置に設けられていることが望ましい。

より望ましくは、前記固定金具が取り付けられた縦枠杆の内側面の前記透光パネル及び穿孔パネルより室内側の位置に、金具取付溝が上下方向に形成され、該金具取付溝に前記固定金具がスライド自在に取り付けられていることである。

【 0 0 0 8 】

また、本発明の具体的な構成態様によれば、前記仕切框の室内外方向幅は、前記装置枠

10

20

30

40

50

の室内外方向幅より小さく、該仕切框が前記装置枠に取り付けられている位置は、該装置枠の室内外方向幅の中央より室外端寄りの位置であり、また、該装置枠の内周面の室外端寄りの位置には、前記仕切枠と同等の室内外方向幅を有するパネル取付部材が取り付けられ、該パネル取付部材を介して前記透光パネル及び穿孔パネルが前記目隠し部及び通気部にそれぞれ取り付けられている。

【 0 0 0 9 】

更に、本発明の通気・目隠し装置は、前記装置枠の縦径及び横径を、前記サッシの開口部の縦径及び横径に対して同等以上とすることにより、該サッシの開口部全体を覆った状態で該サッシに嵌め殺し状態に取付可能であり、また、前記通気部の面積が前記目隠し部の面積より小さい。

10

【 発 明 の 効 果 】

【 0 0 1 0 】

本発明の通気・目隠し装置は、サッシに単に嵌め殺し状態に取り付けておくだけで、目隠し部によって目隠し機能を発揮すると同時に、通気部によって通気機能も発揮することができる。このため、二つの目隠し部材を有する従来の目隠し装置に比べ、前記目隠し部及び通気部を一々開閉操作する必要がないため、使い勝手が非常に良く、その構造も至って簡単である。

【 図 面 の 簡 単 な 説 明 】

【 0 0 1 1 】

【 図 1 】 本発明の第 1 実施形態に係る通気・目隠し装置を引き違い窓のサッシに取り付けた状態を示す縦断面図である。

20

【 図 2 】 図 1 の横断面図である。

【 図 3 】 図 1 の上端部分を拡大して示す要部拡大断面図である。

【 図 4 】 図 2 の右端部分を拡大して示す要部拡大断面図である。

【 図 5 】 図 1 の上端部分を室内側から斜め右上方に向けて見上げた場合の要部斜視図である。

【 図 6 】 本発明に係る通気・目隠し装置を室外側から斜め下向きに見た場合の斜視図である。

【 図 7 】 図 6 の縦断面図である。

【 図 8 】 図 7 の上端部分を拡大して示す要部拡大斜視図である。

30

【 図 9 】 図 7 の下端部分を拡大して示す要部拡大斜視図である。

【 図 1 0 】 本発明に係る通気・目隠し装置の第 2 実施形態を示す斜視図である。

【 図 1 1 】 本発明に係る通気・目隠し装置の第 3 実施形態を示す斜視図である。

【 発 明 を 実 施 す る た め の 形 態 】

【 0 0 1 2 】

図 1 - 図 5 は、本発明の第 1 実施形態に係る通気・目隠し装置 1 を引き違い窓のサッシ 2 に取り付けた状態を示すものである。図中の符号 3 は建物の躯体を示している。

なお、以下の説明において、「左」及び「右」とは、前記通気・目隠し装置 1 及びサッシ 2 を室内側から見た場合の向きである。

【 0 0 1 3 】

40

前記サッシ 2 は、アルミニウム合金製の上枠辺 2 a 及び下枠辺 2 b と、アルミニウム合金製の左枠辺 2 c 及び右枠辺 2 d とにより、矩形枠状に形成されたものである。前記上枠辺 2 a 及び下枠辺 2 b には、それぞれ 2 本の障子用レール 5 a , 5 b 及び 6 a , 6 b が、室内側と室外側との位置に互いに平行をなすように形成され、該障子用レール 5 a , 5 b 及び 6 a , 6 b に、二つのガラス障子 7 a , 7 b が、引き違い式に開閉自在なるように取り付けられている。即ち、室内側に位置する上方の障子用レール 5 a と下方の障子用レール 6 a とに、一方のガラス障子 7 a がスライド自在に取り付けられ、室外側に位置する上方の障子用レール 5 b と下方の障子用レール 6 b とに、他方のガラス障子 7 b がスライド自在に取り付けられている。

【 0 0 1 4 】

50

また、前記サッシ 2 の上枠辺 2 a 及び下枠辺 2 b における室外側の端部の上下相対する位置には、前記ガラス障子 7 a , 7 b より室外側の位置に、前記通気・目隠し装置 1 を落とし込み式に取り付けるための上部レール 8 a 及び下部レール 8 b が、前記上枠辺 2 a 及び下枠辺 2 b の長手方向に延在すると共に前記障子用レール 5 a , 5 b 及び 6 a , 6 b と平行をなすように形成されている。

【 0 0 1 5 】

一方、前記通気・目隠し装置 1 は、図 6 - 図 9 から明らかなように、アルミニウム合金製の上下の横枠杆 1 0 a , 1 0 b 及び左右の縦枠杆 1 0 c , 1 0 d からなる矩形の装置枠 1 0 と、該装置枠 1 0 の内部を目隠し部 1 2 と通気部 1 3 とに区画するアルミニウム合金製の仕切框 1 1 と、前記装置枠 1 0 を前記サッシ 2 に固定するための固定装置 1 4 (図 1 - 図 5 参照) とを有して、前記目隠し部 1 2 には、光透過性を有する不透明の透光パネル 1 5 が固定的に取り付けられ、前記通気部 1 3 には、複数の微小な通気孔 1 6 a を有する不透明の穿孔パネル 1 6 が固定的に取り付けられている。

10

【 0 0 1 6 】

前記通気・目隠し装置 1 は、その縦径 M 及び横径 N を、前記サッシ 2 の開口部の縦径及び横径と同等か又はそれより若干大きく形成することにより、該サッシ 2 の開口部全体を覆った状態で該サッシ 2 に嵌め殺し状態に取り付けるものである。

【 0 0 1 7 】

前記通気・目隠し装置 1 の構成について更に詳細に説明する。

前記装置枠 1 0 の内部には、左方の縦枠杆 1 0 c と右方の縦枠杆 1 0 d との間に前記仕切框 1 1 が水平に架設され、それによって該装置枠 1 0 の内部が、前記仕切框 1 1 の下側の前記目隠し部 1 2 と、前記仕切框 1 1 の上側の前記通気部 1 3 とに区画されている。

20

【 0 0 1 8 】

前記目隠し部 1 2 及び通気部 1 3 において、前記装置枠 1 0 の内周面、即ち、上下の横枠杆 1 0 a , 1 0 b 及び左右の縦枠杆 1 0 c , 1 0 d の内側面には、アルミニウム合金製のパネル取付部材 2 0 a - 2 0 d がそれぞれ取り付けられ、該パネル取付部材 2 0 a - 2 0 d の内側面と前記仕切框 1 1 の上下面とは、それぞれパネル取付溝 2 1 が形成され、該パネル取付溝 2 1 内に前記透光パネル 1 5 及び穿孔パネル 1 6 の端部を嵌合させることにより、該透光パネル 1 5 及び穿孔パネル 1 6 が、前記目隠し部 1 2 及び通気部 1 3 にそれぞれ取り付けられている。

30

【 0 0 1 9 】

前記仕切框 1 1 とパネル取付部材 2 0 a - 2 0 d との室内外方向幅 W 2 は、互いにほぼ同等であって、その幅 W 2 は、前記装置枠 1 0 の室内外方向幅 W 1 、即ち、前記上下の横枠杆 1 0 a , 1 0 b 及び左右の縦枠杆 1 0 c , 1 0 d の室内外方向幅 W 1 より小さく、該幅 W 1 の約半分程度である。また、前記仕切框 1 1 及びパネル取付部材 2 0 a - 2 0 d が前記上下の横枠杆 1 0 a , 1 0 b 及び左右の縦枠杆 1 0 c , 1 0 d に取り付けられている位置は、該横枠杆 1 0 a , 1 0 b 及び縦枠杆 1 0 c , 1 0 d の室内外方向幅 W 1 の中央より室外端寄りの位置である。

【 0 0 2 0 】

更に、前記仕切框 1 1 が前記装置枠 1 0 に取り付けられている位置は、該装置枠 1 0 の高さ方向の中央より上方の位置である。従って、前記通気部 1 3 の上下方向幅 W 4 及び面積は、前記目隠し部 1 2 の上下方向幅 W 3 及び面積より小さい。

40

このように、前記通気部 1 3 の面積を前記目隠し部 1 2 の面積をより小さくすることにより、該通気部 1 3 がパンチングメタルのような光不透過性の部材で形成されている場合でも、それによって受ける閉塞感をできるだけ抑えることができる。

前記通気部 1 3 は、前記装置枠 1 0 の下端部、即ち前記目隠し部 1 2 の下側に形成しても良い。

【 0 0 2 1 】

前記透光パネル 1 5 は、着色や艶消し等の方法により、光は透過するが不透明であるように加工された合成樹脂製のパネルによって形成され、該透光パネル 1 5 の端部が、合成

50

樹脂製の溝形ホルダ 2 2 を介して前記パネル取付溝 2 1 内に取り付けられている。

【 0 0 2 2 】

一方、前記穿孔パネル 1 6 は、鉄やステンレスあるいはアルミニウム合金等の金属板に多数の前記通気孔 1 6 a を開けたパンチングメタルにより形成されたもので、該穿孔パネル 1 6 の上下両端部に、前記パネル取付溝 2 1 内に丁度嵌合するような幅（厚さ）を有する立体形状の折曲部 1 6 b がそれぞれ形成されると共に、該穿孔パネル 1 6 の中間部に、水平方向に延びる補強用のリブ 1 6 c が、該穿孔パネル 1 6 を折曲することにより形成されている。しかし、この穿孔パネル 1 6 は、前記透光パネル 1 5 と同様の不透明加工を施した合成樹脂製のパネルに多数の通気孔を開けたものによって形成することもできる。

【 0 0 2 3 】

また、前記装置枠 1 0 における上下の横枠杆 1 0 a , 1 0 b のうち、上方の横枠杆 1 0 a における室内側の端部には、前記サッシ 2 の上部レール 8 a が嵌合、係止する上部係止溝 2 4 が、上向きに開口するように形成され、下方の横枠杆 1 0 b における室内側の端部には、前記サッシ 2 の下部レール 8 b が嵌合、係止する下部係止溝 2 5 が、下向きに開口するように形成されている。前記上部係止溝 2 4 の深さ H 1 は、前記下部係止溝 2 5 の深さ H 2 より深い。

【 0 0 2 4 】

前記上部係止溝 2 4 は、上方の横枠杆 1 0 a に取り付けられて該横枠杆 1 0 a の一部をなす溝部材 2 6 で形成されている。即ち、前記横枠杆 1 0 a の室内側端の下面には、ナット収容溝 2 7 を備えたレール状の取付部 2 8 が形成され、該取付部 2 8 に、断面凹形をした前記溝部材 2 6 が、前記ナット収容溝 2 7 内のナット 2 9 に螺着した螺子 3 0 により固定され、該溝部材 2 6 の後端部から上方に立ち上がった後端壁 2 4 a と前記取付部 2 8 との間に、前記上部係止溝 2 4 が形成されている。

【 0 0 2 5 】

このように構成された前記上部レール 8 a 及び下部レール 8 b と前記上部係止溝 2 4 及び下部係止溝 2 5 とによって前記通気・目隠し装置 1 は、前記サッシ 2 に落とし込み式に取り付けることができる。その取り付けは、前記サッシ 2 の室外側から行い、その手順は次の通りである。

【 0 0 2 6 】

即ち、図 1 において、先ず、前記通気・目隠し装置 1 の上端側を室内側に向けてやや傾けた状態にし、前記上部係止溝 2 4 内にサッシ 2 の上部レール 8 a を嵌合させる。

次に、前記通気・目隠し装置 1 を、前記上部レール 8 a の下端が上部係止溝 2 4 の溝底に当接する位置まで持ち上げ、その状態で該通気・目隠し装置 1 の姿勢を垂直に向けることにより、前記下部係止溝 2 5 をサッシ 2 の下部レール 8 b の真上に位置させる。

【 0 0 2 7 】

続いて、そのままの姿勢で前記通気・目隠し装置 1 を下降させることにより、前記下部係止溝 2 5 内に下部レール 8 b を嵌合させる。そうすると、前記上部係止溝 2 4 の深さ H 1 は下部係止溝 2 5 の深さ H 2 より深いので、前記上部レール 8 a が、前記上部係止溝 2 4 内に嵌合した状態を維持することによって該上部係止溝 2 4 の後端壁 2 4 a に係止したまま、前記下部レール 8 b が、前記下部係止溝 2 5 内に嵌合して該下部係止溝 2 5 の後端壁 2 5 a に係止する。

【 0 0 2 8 】

そして最後に、前記通気・目隠し装置 1 を、前記固定装置 1 4 で、持ち上げることができないよう前記サッシ 2 に固定する。

【 0 0 2 9 】

前記固定装置 1 4 は、前記装置枠 1 0 における左右の縦枠杆 1 0 c , 1 0 d の内側面の金具取付溝 3 2 にスライド自在に取り付けられた固定金具 3 3 と、該固定金具 3 3 を前記縦枠杆 1 0 c , 1 0 d に固定するための固定螺子 3 4 とを有している。

【 0 0 3 0 】

前記金具取付溝 3 2 は、前記左右の縦枠杆 1 0 c , 1 0 d の前記パネル取付部材 2 0 a

10

20

30

40

50

- 20dより室内側の位置に、該縦枠杆10c, 10dの長さ方向である上下方向に延在するように形成され、その断面形状は、溝開口部幅が溝内部幅より狭い形をしている。

前記金具取付溝32の内部には、ナット部材35が非回転状態で移動自在なるように収容されていて、該ナット部材35に前記固定螺子34の先端が螺着されており、これにより、該固定螺子34を締め込むことで、前記固定金具33を必要な位置に固定することができるようにしている。前記固定螺子34の締め込み操作、即ち回動操作は、前記透光パネル15及び穿孔パネル16の室内側から行われる。

【0031】

また、前記固定金具33は、前記サッシ2に形成された前記上部レール8aの下端部に当接する当接部33aを有している。この当接部33aは、前記固定金具33の室内側の端部から室内側方向に向けて突出すると共に、上端部が固定金具33の上方に向けて突出するもので、該当接部33aは、その先端側の半部が、装置枠10の内側に向けて断面くの字状に折り曲げられている。

【0032】

前記固定金具33により前記通気・目隠し装置1は、次のようにして前記サッシ2に固定される。即ち、前記固定金具33は、前記通気・目隠し装置1を前述したようにサッシ2に落とし込み式に取り付けるときは、図3に実線で示す下降位置に前記固定螺子34で仮止めした状態にしておき、前記通気・目隠し装置1をサッシ2に落とし込み式に取り付けたあと、前記固定螺子34を緩め、その状態で前記固定金具33を、縦枠杆10c, 10dに沿って図3に鎖線で示す位置、即ち、図1及び図5からも明らかなように、前記当接部33aの上端が前記サッシ2の上部レール8aの下端に当接する位置まで上昇させ、その位置で、前記固定螺子34を締め込んで該固定金具33を前記縦枠杆10c, 10dに固定する。そうすると、前記通気・目隠し装置1は、前記固定金具33が前記上部レール8aに当接、係止することによって持ち上げることができなくなるため、前記サッシ2から取り外すことができなくなり、該サッシ2に嵌め殺し状態に固定されることになる。

【0033】

このようにしてサッシ2に取り付けられた前記通気・目隠し装置1は、それを単に嵌め殺し状態に取り付けておくだけで、前記目隠し部12によって目隠し機能を発揮すると同時に、前記通気部13によって通気機能も発揮する。

従って、前記通気・目隠し装置1は、二つの目隠し部材を有する従来の目隠し装置とは異なり、前記目隠し部12及び通気部13を一々開閉操作する必要がないため、使い勝手が非常に良く、その構造も至って簡単である。

【0034】

前記通気・目隠し装置1をメンテナンスや交換等のため前記サッシ2から取り外すときは、室内側から前記固定螺子34を緩めて固定金具33を図3の実線位置まで下降させ、そこに仮止めしたあと、室外側から前記通気・目隠し装置1を、取り付けるときとは逆の手順に従って取り外せば良い。

【0035】

なお、図示した実施形態においては、前記固定装置14の固定金具33が、左右の縦枠杆10c, 10dの両方に取り付けられているが、該固定金具33は、左右何れか一方の縦枠杆だけに取り付けても良い。

【0036】

図10は本発明に係る通気・目隠し装置の第2実施形態を示すもので、この第2実施形態の通気・目隠し装置1Aが図6に示す第1実施形態の通気・目隠し装置1と相違する点は、通気部13が装置の上端部と下端部との二箇所に設けられている点である。即ち、装置枠10の高さ方向の中央よりも上方位置と下方位置との二箇所に、仕切框11がそれぞれ横向きに取り付けられていて、上方の仕切框11の上側と下方の仕切框11の下側とにそれぞれ前記通気部13が形成され、上下の仕切框11, 11の間に目隠し部12が形成されている。この場合にも、二つの前記通気部13の面積の合計は、前記目隠し部12の面積をより小さくされている。

10

20

30

40

50

前記第 2 実施形態の通気・目隠し装置 1 A のこれ以外の構成は、実質的に前記第 1 実施形態の通気・目隠し装置 1 と同じであるから、その具体的説明は省略する。

【 0 0 3 7 】

図 1 1 は本発明に係る通気・目隠し装置の第 3 実施形態を示すもので、この第 3 実施形態の通気・目隠し装置 1 B が前記第 2 実施形態の通気・目隠し装置 1 A と相違する点は、通気部 1 3 が装置の左端部と右端部との二箇所に縦長に設けられている点である。即ち、装置枠 1 0 の間口方向（横幅方向）の中央より左方位置と右方位置との二箇所に仕切框 1 1 がそれぞれ縦向きに取り付けられていて、左方の仕切框 1 1 の左側と右方の仕切框 1 1 の右側とにそれぞれ前記通気部 1 3 が形成され、左右の仕切框 1 1 , 1 1 の間に目隠し部 1 2 が形成されている。

10

前記第 3 実施形態の通気・目隠し装置 1 B のこれ以外の構成は、実質的に前記第 2 実施形態の通気・目隠し装置 1 A と同じである。

【 0 0 3 8 】

なお、前記第 3 実施形態の通気・目隠し装置 1 B においても、第 1 実施形態の通気・目隠し装置 1 と同様に、前記通気部 1 3 を、装置の左端部か又は右端部の一箇所だけに形成することもできる。

あるいは、前記通気部 1 3 を装置枠 1 0 内の中間位置に横長又は縦長状態に配置し、該通気部 1 3 の上下両側又は左右両側に前記目隠し部 1 2 を配置することもできる。

【 符号の説明 】

【 0 0 3 9 】

20

1 , 1 A , 1 B	通気・目隠し装置
2	サッシ
2 a	上枠辺
2 b	下枠辺
8 a	上部レール
8 b	下部レール
1 0	装置枠
1 0 a	上方の横枠杆
1 0 b	下方の横枠杆
1 0 c	左方の縦枠杆
1 0 d	右方の縦枠杆
1 1	仕切框
1 2	目隠し部
1 3	通気部
1 4	固定装置
1 5	透光パネル
1 6	穿孔パネル
1 6 a	通気孔
2 0 a - 2 0 d	パネル取付部材
2 4	上部係止溝
2 5	下部係止溝
3 2	金具取付溝
3 3	固定金具
3 3 a	当接部
3 4	固定螺子
H 1	上部係止溝の深さ
H 2	下部係止溝の深さ
W 1	装置枠の室内外方向幅
W 2	仕切框の室内外方向幅
M	装置枠の縦径

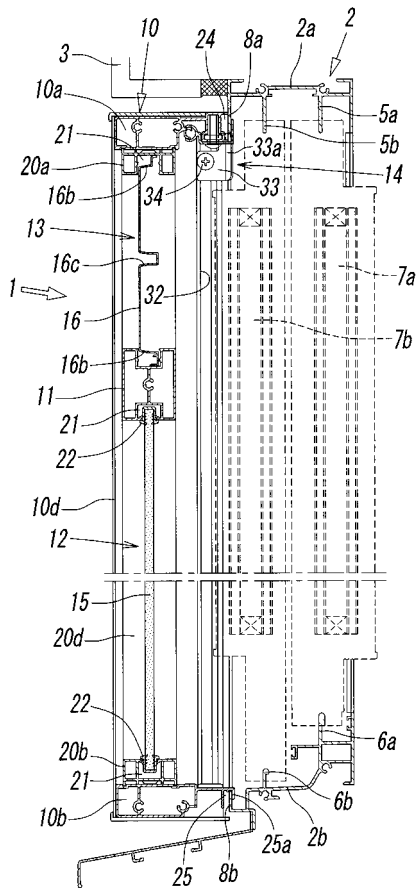
30

40

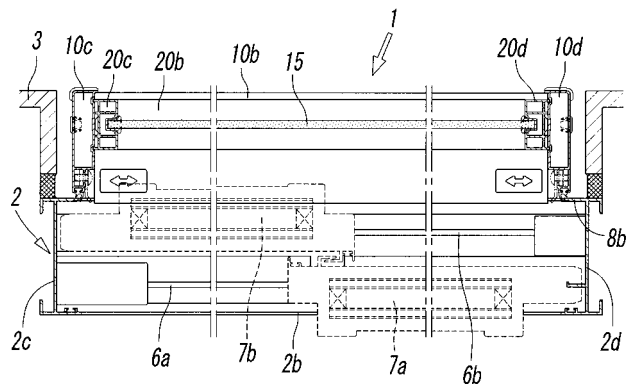
50

N

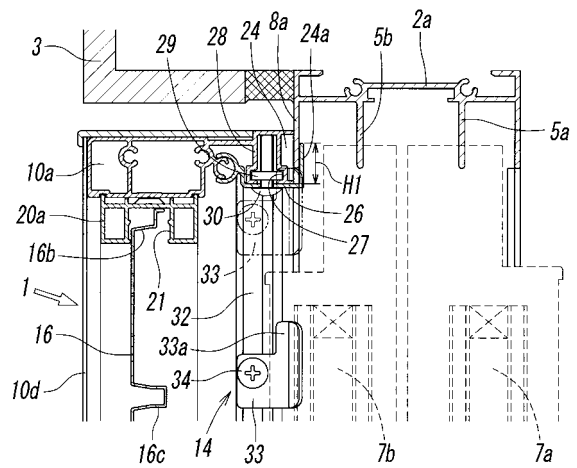
【 図 1 】



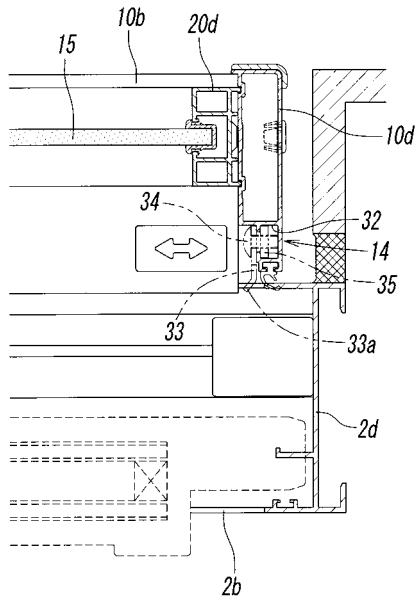
【 図 2 】



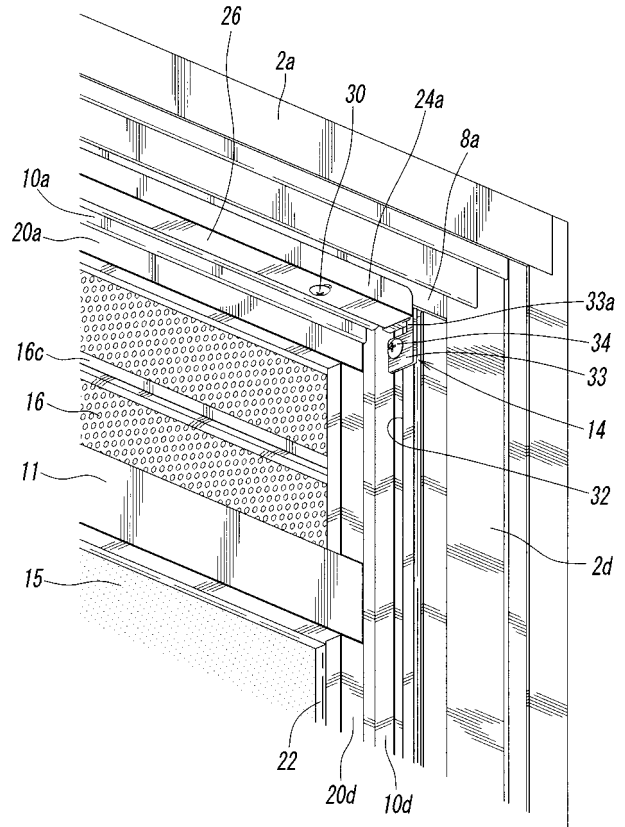
【 図 3 】



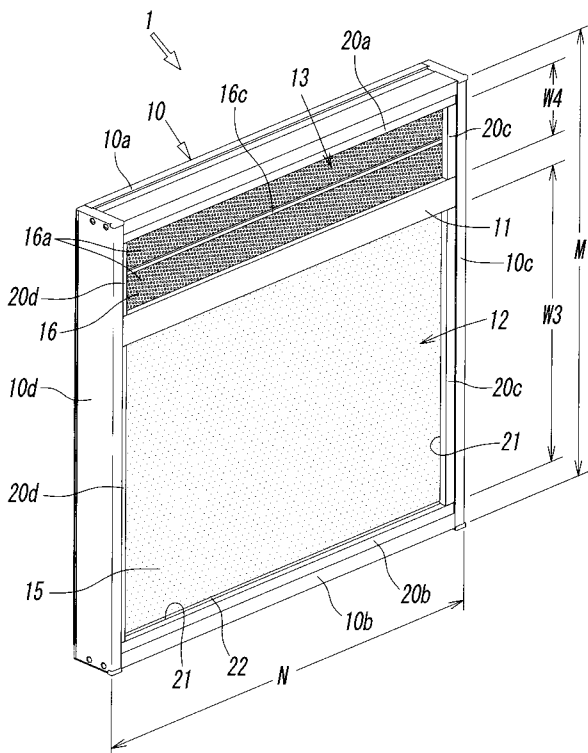
【図 4】



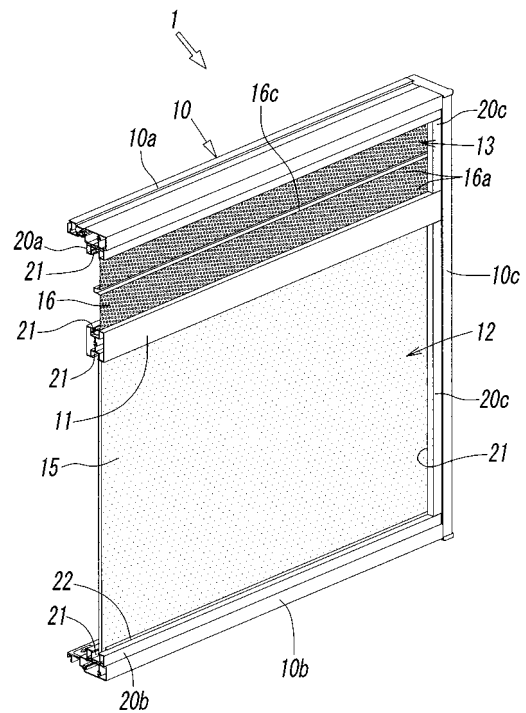
【図 5】



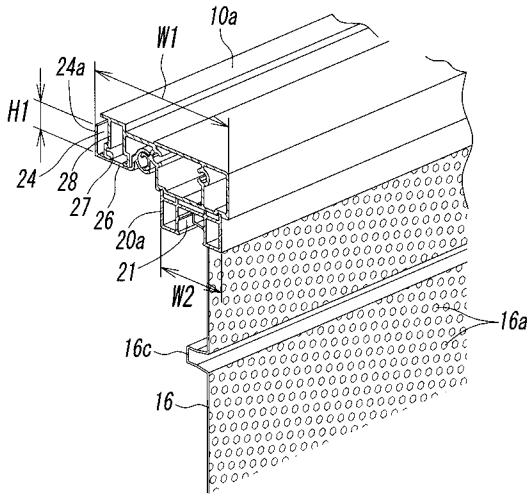
【図 6】



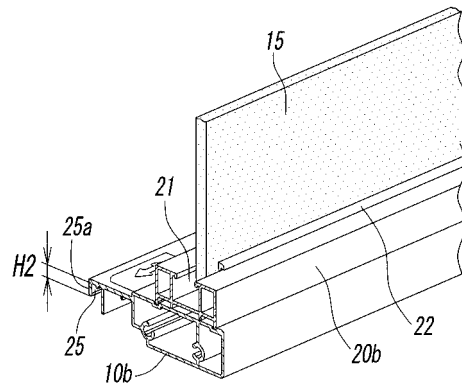
【図 7】



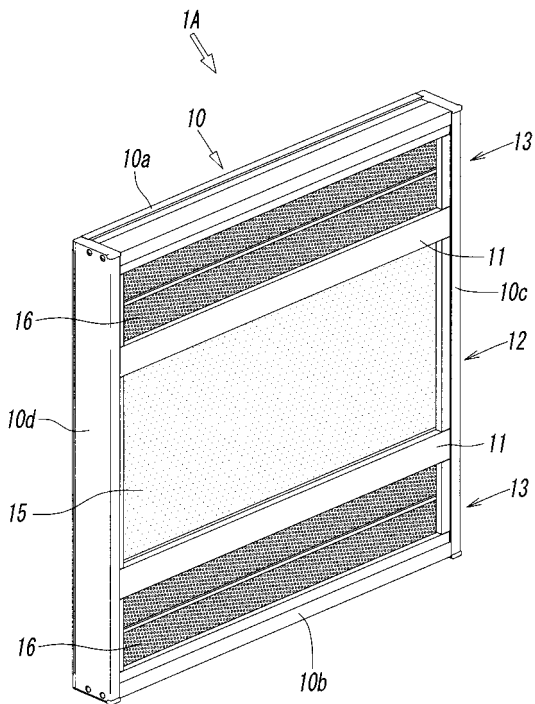
【図 8】



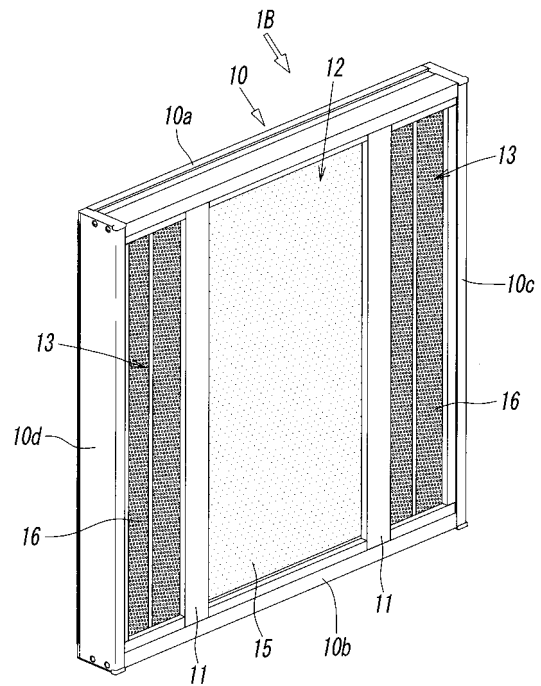
【図 9】



【図 10】



【図 11】



フロントページの続き

Fターム(参考) 2E036 JA01 JB02 KA01 KB01 LA01 MA00